

日本語教室部会の華道教室が開かれました

日本語教室部会の「あすなろ会華道教室」が12月7日（月）と9日（水）の2回、サンロード5階研修室にて開かれました。

7日の月曜日には学習者4名とボランティア3名が参加。他に、アシストする行事担当幹事が3名。講師は木下弘子さんです。

今回のテーマは「クリスマス」。始まる前のテーブルには赤、白、グリーンのクリスマスらしい花材が用意され、会場はすでに華やかな雰囲気になっていました。

先生のテキパキとした説明とともに、生け花の作成はテンポよく進みます。参加者のみなさんはおしゃべりもなく、静かに制作に集中。時折、手が止まって迷うような様子が見えると、早速先生が近寄って丁寧に指導します。限られた材料でもそれぞれに個性的な作品が出来ていきました。

約30分が過ぎるころ、ポツポツと完成の人が出始めました。みなさん満足の表情です。

ルルデスさん（ペルー）は「初めてですが、面白かった。（自分の作品は）気に入っています」。「とても楽しかった」とアグズル・サラさん（モロッコ）。カタオカ・チーキさん（フィリピン）は「以前にも経験はありますが、（花を使って作品を）作るのはいつもとても楽しい。生け花は大好きです」。「自然の花に、人の手が加えられて作品が出来るのが面白い」とサヒ・ミラさん（ネパール）。木下さんは「フラワーアレンジメントは世界各地にあります。生け花のようなカタチは日本だけ。ジャパニーズ・スタイルを楽しんでもらえたらいいですね」と話していました。

家での飾り方を先生が説明、持ち帰る花材を大事に包んで終了となりました。

（報告 秋山 勝／広報青年部会）



なごやかな雰囲気で作成が進みます。見守る講師の木下さん(右側)。



完成作品を前に、参加者と担当幹事のみなさん。